

国内の MICE 先進地視察

1 視察先選定の理由

長野県は首都圏からの距離や自然あふれる生活環境等において福島県との共通点が多い。しかし、観光施策において長野県は、早くから日本のリゾート地として認知されている上、1998年に開催された冬期五輪で世界的に注目されて以来日本の地方都市として国際化が進んでいる。今回は特に「ながの観光コンベンションビューロー」を訪ね、長野市における会議、大会、学会、合宿などの受け入れにあたっての取組状況を視察してきたい。

2 長野県視察報告

(1) 日時 : 平成 27 年 11 月 10 日 (火) ～平成 27 年 11 月 11 日 (水)

(2) 参加者 : 6 名

			発着地
1	(株)井門観光研究所	井門 隆夫	東京駅
2	福島交通観光(株)	影山 幸一	郡山駅
3	郡山情報ビジネス公務員専門学校	小林 一雄	郡山駅
4	郡山情報ビジネス公務員専門学校	遠藤 雅史	郡山駅
5	郡山情報ビジネス公務員専門学校	木村 美紀子	福島駅
6	(株)井門観光研究所	山田 祐子	郡山駅

(3) 行程表 :

文部科学省委託事業

平成 27 年度「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」

「福島版 M I C E に対応できる中核的専門人材育成事業」

M I C E 先進地長野視察 2 日間

日 程 : 平成 27 年 11 月 10 日 (火) ～11 月 11 日 (水) 1 泊 2 日

交通手段 : J R ・ タクシー ・ 路線バス ・ 特急バス

視察地 : 長野県 長野市・白馬村

人数 : 6 名

	行 程
	郡山駅(7:53)―東北新幹線「やまびこ」120 号―(9:12)大宮駅 大宮駅(9:46)―北陸新幹線「かがやき 523」号―(10:44)長野駅 長野駅(11:15) == 路線バス == エムウェーブ見学(11:40～12:30) == 路線

1 日目 11/10 (火)	バス・またはタクシーにて==もんぜんぷら座 (昼食) (12:50~13:15) (長野駅善光寺口よりタクシーにて) ながの観光コンベンションビューロー (TEL026-223-6050) 訪問 (13:30~15:00) 面会者 専務理事・滝沢信一 様 他 3 名予定 (タクシーまたは路線バスにて) 善光寺 善光寺 (タクシーまたは路線バスにて) ===長野駅東口へ 長野駅東口 (17:00) === (特急バス) === (18:10) 白馬八方バスターミナル…… (18:15) ホテル五龍館 (夕食) (宿泊)
2 日目 11/11 (水)	ホテル五龍館 (朝食) (8:30) スキージャンプ台を見学 (9:30~11:30) 白馬村での外国語翻訳システムの導入についてのヒアリング 白馬八方バスターミナル (11:50) === (特急バス) === (13:00) 長野駅東口 (長野駅構内にて昼食) 長野駅 (13:59) —北陸新幹線「はくたか」564 号— (15:03) 大宮駅— (15:28) 東京駅 大宮駅 (15:26) —東北新幹線「やまびこ」143 号— (16:19) 郡山駅 到着

☐ ながの観光コンベンションビューロー TEL 026-223-6050 FAX 026-223-5520
〒380-0835 長野市新田町 1485-1 長野市 もんぜんぷら座 4F
(長野駅と善光寺の中間地点)
面会者 専務理事・滝沢信一 様 他 3 名予定

☐ 特急バスアルピコ交通長野営業所 TEL 026-254-6000
白馬営業所 TEL 0261-72-3155

☐ 宿泊機関 白馬八方温泉のホテル ホテル五龍館
TEL 0261-72-3939 FAX 0261-72-5383
〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村大字北城 3353

(4) 視察先報告

[11 月 10 日 (火)]

① 株式会社エムウェーブ

面会者 代表取締役社長 土屋 龍一郎 氏
総務企画部 部長 山崎 弘雄 氏

エムウェーブ

長野市オリンピック記念アリーナ

住所 〒381-0025 長野市大字北長池 195

TEL 026-222-3300 FAX 026-222-3222

ホームページ <http://www.nagano-mwave.co.jp>

メール info@nagano-mwave.co.jp

アクセス ○JR 長野駅東口より長電バス〔須坂屋島線〕または〔綿内屋島線〕で
〔エムウェーブ前〕下車（所要時間 15 分）

○須坂長野東 IC より車で約 5 分（3km）

エムウェーブはコンサートからイベントまで多彩な対応をしている。

床面積 13,700 平方 m を擁する長野市最大の屋内空間で、様々なイベントに使用でき、天候に左右されないことが最大の利点である。用途により可動スタンドを動かし、床面積を変えることができ、大きなイベントから小さなイベントまで利用可能である。概ね 10 月～3 月はアイススケートリンクとして、1 周 400m のダブルトラックを有する、世界有数の屋内スピードスケートリンクである。アイスホッケーリンクも一面設置されている。固定席 6,500 席（最大 20,000 人収容可）その他、アリーナのほかに会議室を 3 室有しており、個別の貸し出しも可能である。

コンベンション対応

○受付開始日／最大 16 ヶ月前から

○利用時間 〆0 時～24 時

○休館日 〆休館日はないが、冬季はアイススケートリンクになるので、概ね 9 月から 3 月下旬はアリーナの利用はできない。会議室は通年利用可能。

○駐車場 〆大型車 60 台 普通車 900 台（無料）

○駐車時間 〆終日

イベント内容によっては、早朝から深夜まで利用可能

会場名	面積（平方m）	収容人数（人）	1 日使用料（円）	備考
アリーナ	13,700	20,000	743,040	基本使用料
大会議室	332	120	12,420	〃

小会議室 1	103	30	7,560	〃
小会議室	96	30	7,560	〃

会場名	面積 (平方m)	利用可能	観客収容 人数(人)	施設概要	1日使用料	備考
アリーナ スポーツ利用	11,000	各種スポーツ 大会	6,500	1面	186,300	基本使用料 のみ

付帯設備	VIP ルーム(3階)、食堂(冬季は、土・日・祝日営業。夏季は、イベント開催時に営業)、更衣室
備 品	大型映像装置、常設音響装置、走行バトン、吊物装置、フォークリフト、マイクロホン、机、いす

通常の利用時間は9時から20時までで、それ以外は入口を閉めるがイベント内容により変動可能。



(エムウェーブ 写真)

② ながの観光コンベンションビューロー

面会者	専務理事	滝澤 信一 氏
	コンベンション部 部長	萩原 道夫 氏
	観光部 部長	島津 仁 氏
	事務局長	駒津 善忠 氏

長野市は、全国に知られる善光寺の門前町として古くから賑わい、数え年で7年に一度

の御開帳には2ヶ月で600万人もの人が訪れる観光都市である。1998年の冬季五輪で大きな感動を世界へ発信して以来、国際都市NAGANOとしてさらにグローバルな展開が続けている。市内には五輪当時の熱気を伝えるオリンピック施設をはじめ、あらゆる分野のイベントやコンベンションに対応した施設、そして、来訪者を温かくもてなく宿泊施設が豊富に揃っている。少し足を延ばせば四季折々にさまざまなスポーツやエクスカーションが楽しめる豊かな自然あふれる環境にある。

今回、「長野観光コンベンションビューロー」を訪問し、長野市におけるMICEの取り組みをお聴きする機会を得た。

長野市におけるMICE誘致の6つのポイント

①多彩なコンベンション施設

オリンピック施設をはじめ、さまざまな分野・規模のコンベンションに対応する施設がある。

◆主な会議施設一覧

施設名	規模 スクール形式 収容人数（人）	規模 シアター形式 収容人数（人）	面積
エムウェーブ	6,500	6,500	11,000
ビッグハット	7,000	7,000	4,000
長野市若里市民運かホール	606	606	
南長野運動公園総合	30,000	30,000	14,200
長野運動公園総合運動場	15,525	15,525	11,615
アクアウイング	2,000	2,000	
ホワイトリング	5,000	5,000	2,700
スパイラル			
北部スポーツ・レクリエーションパーク			11,000
ホクト文化ホール	2,173	2,173	
長野市芸術館	1,292	1,292	880
長野生涯学習センター	156	156	195
ホテルメトリポリタン長野	600	1,000	1,000
ホテルメルパルク長野	288	712	760
ホテル国際21	675	1,500	1,033
THE SAIHOKUKAN HOTEL	500	900	680
ホテル信濃路	130	230	256

ホテル JAL シティ長野	72	130	111
長野バスターミナル会館	200	380	331
長野県農協ビル	230	500	380
長野市勤労者女性会館しなのき	295		508
善光寺大本願		200	170
北野文芸座		385	850
THE FUJIYA GOHONJIN	50		205
一般社団法人長野県教育会館	150		231
長野県高校教育会館	120		
N O S A I 長野会館	110	130	218
長野県社会福祉総合センター	250	300	288
アークスセンター	300	500	500
長野県障がい者福祉センターアップル	200		
長野市東部文化ホール		326	394
長野第一ホテル	100	150	200
ホテルサンルート長野	36	36	70
信州松代ロイヤルホテル	500	1,000	1,015
国民宿舎松代荘	110	220	210
松代文化ホール		328	589
篠ノ井市民会館		559	579
いこいの村アゼリア飯綱	105		119
信州天空 resort ARCADIA	180	280	272
戸隠高原ホテル	150	150	250
中谷旅館	120		100 畳

◆主な宿泊施設

エリア	施設名	収容能力 宿泊人数（人）	収容能力 客室数
長野駅西エリア	ホテルメトロポリタン長野	382	235
〃	長野プラザホテル	57	41
〃	東横イン長野駅善光寺口	252	215
〃	ホテルサンルート長野	190	150

〃	長野セントラルホテル	70	60
〃	長野第一ホテル	132	111
〃	ホテル日興	107	69
〃	チサングランド長野	183	138
〃	アイランドホテル	95	85
〃	ホテルナガノアベニュー	231	208
〃	長野リンデンプラザホテル	160	137
〃	ホテルニューナガノ	139	122
〃	スマイルホテル長野	229	185
〃	ホテルJALシティ長野	328	242
〃	ホテルハイアットインナガノ	79	57
〃	ホテル信濃路	54	25
〃	ホテル国際21	317	174
〃	THE SAIHOKUKAN HOTEL	136	89
〃	ホテル臼井館	52	27
〃	裾花峡天然温泉宿うるおい館	62	11
〃	ホテルやま	55	50
〃	中央館清水屋旅館	56	18
〃	いづみや旅館	35	9
〃	松屋旅館	45	14.
〃	善光寺宿坊淵之坊	40	8
〃	信州善光寺永代 宿坊玉照院	80	8
〃	宿坊薬王院	80	8
〃	白蓮坊	40	5
〃	宿坊良性院	80	8
〃	常智院	40	7
〃	ホテルアタゴ	35	10
〃	森と水バックパッカーズ	30	9
長野駅東エリア	ホテルメルパルク長野	171	90
〃	ホテルサンルート長野東口	161	121
〃	旅館大橋	70	24
〃	ホテルルートイン長野	97	81
松代エリア	信州松代ロイヤルホテル	1,070	345
〃	国民宿舎 松代荘	152	36
〃	旅館定鑑堂	30	11

篠ノ井エリア	HOTELナイスイン村一番	200	50
〃	ホテルオリンピック長野	90	72
〃	中尾山温泉 松仙閣	110	24
飯網エリア	信州天空 resort ARCADIA	240	59
〃	いこいの村アゼリア飯網	139	32
〃	ペンション遊山	30	6
戸隠エリア	蕎麦会席の宿鷹明亭辻旅館	81	14.
〃	シャレー戸隠	43	9
〃	高妻ロッヂ	45	11
〃	戸隠中社武井旅館	80	14
〃	戸隠高原ホテル	150	33
〃	戸隠蕎麦宿極意	25	6
〃	中谷旅館	80	16
〃	ペンションあぜりあ	40	12
〃	宮本旅館	40	10
〃	山小屋まるや	45	10
〃	横倉旅館	43	10
〃	ロッヂ飯島	53	12
〃	高山坊	40	12
〃	越志旅館	40	11
他	やきもち家	50	9

②安心のバックアップ体制

豊富なメニューがあり、準備段階から専門スタッフがサポートする。

○サポートプログラム

長野観光コンベンションビューローでは、長野市内・長野市近郊でのコンベンション開催を検討しているオーガナイザーに対して、豊富なサポートメニューと支援制度を用意している。準備段階から、開催後のフォローまでサポート体制をかれ、専門スタッフが対応している。

・ 検討段階

会場の情報提供・相談

施設資料等の提供

事前視察の受け入れ

プロモーションDVDの貸し出し

・ 準備段階

コンベンション開催助成金・開催準備金貸付申請

歓迎看板、市内ガイドブック、グルメガイド作成依頼申請

コンベンションバス依頼申請

開催打ち合わせ

準備視察の受け入れ

行政機関との調整・橋渡し

各施設との調整

会議・宿泊施設の紹介

▶支援の具体例：様々なコンベンションに対応する、長野市内豊富な施設を紹介する。

コンベンション関連企業の紹介

▶支援の具体例：旅行会社、印刷、レンタルまで、コンベンションの開催に不可欠な関連企業を紹介する。

ボランティアの紹介

▶支援の具体例：長野市内で活躍しているボランティアグループを中心に紹介する。

アトラクションの紹介

▶支援の具体例：長野市内の郷土芸能、太鼓、ショーダンス等を紹介する。

コンベンションバスの提供

▶支援の具体例：シャトルバス—参加者が1,000人以上で2会場以上に分散開催する大会に

は、会場間を輸送するバスを提供する。

エクスカーションバス—参加者が100人以上の大会のエクスカーションには、観光バスを2台まで提供する。

モデルコース〔所要時間：約4時間〕 長野駅＝バス＝戸隠中社＝バス＝戸隠森林植物園＝バス＝昼食（戸隠そば）＝バス＝長野駅

アクセス・誘導等のアドバイス

開催の周知への協力

プレ・アフターコンベンションなどの企画相談

タクシードア歓迎ステッカーの掲出

- ▶支援の具体例：1,000人を超えるコンベンションまたは国際的なコンベンションについては、タクシードアに歓迎ステッカーを掲出する。

商店街歓迎ポスターの掲出

- ▶支援の具体例：1,000人を超えるコンベンションまたは国際的なコンベンションについては、長野市内の各商店街に歓迎ポスターを掲出する。

歓迎看板等の設置

- ▶支援の具体例：JR長野駅のデジタルサイネージおよび会場入口に歓迎看板を設置する。

・開催当日

大会受付・インフォメーションデスクの設置支援

外国語通訳・補助通訳 ボランティア等の紹介

観光DVD等の貸し出し

- ▶支援の具体例：長野市の観光を紹介するDVDを無償で貸し出しする。

オリジナルトートバッグの提供

- ▶コンベンションに参加される方へ、長野市内のガイドブック「おいでなしてながの」や「グルメガイド」、また無料でトートバッグを提供する。

観光パンフレットなどの提供

④終了後

開催助成金報告・請求手続き

③資金面でのサポート

一定の要件を満たすコンベンション・スポーツ大会などに、助成金または支援金が交付される。

助成金には「コンベンション開催助成金」、「企業コンベンション開催助成金」、「国際会議開催助成金」が、支援金には「スポーツ大会開催支援金」と「合宿開催支援金」がある。

●助成金

コンベンション開催助成金

○長野市内で開催される「コンベンション」で、一定の要件を満たすものについて、長野観光コンベンションビューローから予算の範囲内で助成金が交付される。

○「コンベンション」とは、各種会議・大会等を指す。（主催者が長野県または長野市から補助金等の金銭的援助の事業活動を行っているものは含まない。）

▶対象となるコンベンション

長野市内で会議・宿泊する

参加者が 60 人以上

会期（公式行事）が 2 日以上

企業コンベンション開催助成金

○長野市内で開催される「企業コンベンション」で、一定の要件を満たすものについて、長野観光コンベンションビューローから助成金が予算の範囲内で交付される。

○「企業コンベンション」とは、企業が主催するもので、インセンティブ、各種セミナー、スポーツ大会、体験学習などの関連会議で営利を目的としない諸行事またはこれらに準ずるものとする。

▶対象となるコンベンション

長野市内で会議・宿泊する

参加者が 60 人以上

会期（公式行事）が 2 日以上

▶企業コンベンション開催支援内容

- ・パンフレット類、トートバッグの提供
- ・アトラクションの提供（参加者が100人以上の団体には長野市内のアトラクションを10万円を上限として提供する）
- ・エクスカーションバスの提供（参加者が100人以上の団体には概ね長野市内半日コース、観光バス2台まで提供する）

▶コンベンション・企業コンベンション開催助成金

大会参加者数	交付額
60人以上～100人未満	50,000円
100人以上～200人未満	100,000円
200人以上～300人未満	150,000円
300人以上～600人未満	200,000円
600人以上～1,000人未満	250,000円
1,000人以上	300,000円

国際会議開催助成金

国際会議開催助成金の交付額は、以下を合算したものになる。

- ・海外参加者*の総数に1万円を乗じた額と、県外参加者の総数に5千円を乗じた額の合計額で、50万円を交付額の上限とする。

*海外参加者とは当該コンベンションに参加するために来日する国外からの参加者とする。

- ・当該コンベンションの開催期間中に使用した主会場の会場費の半額（千円未満の端数を切り捨てた額）で、100万円を交付額の上限とする。

▶対象となる国際会議

長野市で会議・宿泊する

参加者が100人以上（日本を含め3カ国以上）

会期（公式行事）が2日以上

●支援金

スポーツ大会開催支援金

大会参加者数は競技会参加人数と競技役員人数の合計とし、支援金額の上限は30万円とする。スポーツ競技団体またはその下部組織が主催、共催、または後援を行う競技会について、支援金が交付される。

大会参加者数	交付額
60 人以上～100 人未満	50,000 円
100 人以上～200 人未満	90,000 円
200 人以上～300 人未満	120,000 円
300 人以上～500 人未満	160,000 円
500 人以上～700 人未満	180,000 円
700 人未満から 1,000 人未満	210,000 円
1,000 人以上～1,500 人未満	260,000 円
1,500 人以上	300,000 円

▶対象となる競技会

長野市内で開催され、宿泊する

参加者（競技会参加人数と役員人数の合計）が 60 人以上

大会期間（公式行事）が 2 日以上

合宿開催支援金

首都圏からのアクセスに恵まれ、自然豊かで受け入れ環境の整った長野市は、合宿の開催においても適した地域として、各種の合宿の誘致に力を入れている。

下記の条件を満たすものについて、長野市内で延べ宿泊人員が 60 人以上の宿泊を伴う合宿で開催する場合に申請することができる。

- ・ 中学校、高等学校、大学、その他各種学校の校外活動（修学旅行を除く）並びに所属する生徒及び生徒で組織する団体・サークル
- ・ 企業及び企業に所属する各種団体・サークル
- ・ 大会出などを目標に、社会人等で組織する団体・サークル

[支援金額]

1 泊につき 1 人あたり 300 円（開催合宿 1 件あたり上限 10 万円）

④アフターコンベンションが充実

豊かな自然・歴史・文化を誇る長野ならではの感動体験を、長野市近郊で気軽に楽しむことができる。

▶エクスカーシヨンの例

- ・ 善光寺—門前の街並みを楽しむ
- ・ 城下町松代の歴史に触れる
- ・ パワースポット・戸隠で癒される
- ・ 小布施、須坂へぶらり旅
- ・ 松本—文化香るアルプスの城下町を楽しむ

- ・ 軽井沢の自然に触れる
- ・ 信州の鎌倉・別所温泉を訊ねる など多数

▶各種体験

- ・ そばうち体験
- ・ 精進料理（善光寺宿坊）
- ・ 伝統工芸
- ・ 絵解き
- ・ おやきづくり体験
- ・ 農業体験
- ・ りんご狩り

▶ゴルフ

- ・ 長野カントリークラブ
- ・ 長野京急カントリークラブ
- ・ 長野国際カントリークラブ
- ・ 川中嶋カントリークラブ
- ・ 南長野ゴルフ倶楽部
- ・ 軽井沢 72 ゴルフ
- ・ 旧軽井沢ゴルフ倶楽部
- ・ 軽井沢プリンスホテルゴルフコース
- ・ 三井の森軽井沢カントリー倶楽部
- ・ 松本カントリークラブ
- ・ 松本浅間カントリークラブ
- ・ 穂高カントリークラブ

▶アトラクション

コンベンションの演出や、レセプションの盛り上げに利用されている。

- ・ 善光寺木遣り
- ・ 川中島古戦場太鼓
- ・ 真田勝関太鼓
- ・ 大豆島甚句
- ・ ナチュラルムーブメント 3-2-1 ダンスチーム
- ・ インディアンハーブ
- ・ 獅子舞 善光寺平神楽囃子
- ・ 長野ゴスペルプレイズ

⑤「おもてなしの心」あふれる街

ボランティアによるサポート体制が充実。常に来訪者をおもてなしの心で迎える体制づくりが整える努力を継続している。

▶ボランティア団体

- ・長野市善光寺表参道ガイド協会
- ・エコール・ド・まつしろ倶楽部（登録人員／800名）
- ・松代文化財ボランティアの会（登録人員／110名）
- ・NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会（登録人員／180名）
- ・鬼無里案内ボランティアの会（登録人員／13名）
- ・NPO法人戸隠森林植物園ボランティアの会（登録人員／20名）
- ・梵鐘の会（登録人員／55名）
- ・21世紀ボランティア研究センター（登録人員／180名）
- ・川中島の戦い語りべの会（登録人員／27名）

⑥「日本の真ん中」アクセシビリティ

新幹線で、高速道路で、全国主要都市からのアクセスが便利である。

◆車で

東京／練馬IC——約2時間30分——長野（長野IC）
名古屋／名古屋IC——約3時間30分——長野（長野IC）
大阪／吹田IC——約5時間30分——長野（長野IC）
北陸（金沢）／金沢東IC——約3時間——長野（長野IC）

◆電車で

東京／東京——約1時間25分（最短で）——長野
名古屋——約3時間——長野
大阪——約4時間——長野
金沢——約1時間（最短で）——長野

◆飛行機で

札幌・新千歳空港——約1時間30分——信州まつもと空港
松本IC——約1時間——長野IC（長野市内）
福岡空港——約1時間30分——信州まつもと空港
松本IC——約1時間——長野IC（長野市内）

[11 月 11 日 (水)]

白馬村スキークラブ

面会者

競技本部長

中村 光志 氏

株式会社バイキューブ V-CUBE

面会者

プロダクト戦略室 プロダクトマネージャー

間下 充顕 氏

(以下 アイティメディア株式会社のメールマガジンより記事を抜粋して編集)

近年、日本を訪れる外国人観光客の数は 2014 年に過去最高を記録し、急速に増加している。それに加え、2020 年に東京オリンピック・パラリンピックが開催されることから、訪日外国人の対応が喫緊の課題となっている。特に言葉の壁は大きな課題の一つである。オリンピック準備局も多言語対応を訴えている状況である。

今後「世界最先端 IT 国家」と「観光立国」を目指す日本は、訪日観光客との言葉の壁を IT で解決していく方法を探る必要がある。そのような中、長野県スキー連盟は 2015 年 8 月 29 日に行われた国際大会「2015 FIS サマーグランプリジャンプ白馬大会」で、外国人選手の対応に多言語通訳サービスの「V-CUBE トランスレーター」を取り入れた。今回の視察で我々が聞いてきた限りでは、V-CUBE トランスレーターは訪日外国人の対応に非常に効果があったようである。

長野県白馬村では毎月 8 月にスキージャンプの国際大会「サマーグランプリジャンプ白馬大会」を開催しており、大会開催中は多くの外国人選手が白馬村に滞在する。かつては大会に参加する外国人選手のため、一つの大型ホテルを借り切っていたが、2011 年から現地に複数ある民宿へ振り分ける「分宿」の方針へ変更した。その理由は「世界のトッププレイヤーたちが集結する大きな大会であるが、今までは選手全員を同じホテルにまとめて宿泊してもらっていたため、民宿のオーナーたちの中には大会の存在すら知らない人がいた。スキー場で知られる白馬村は民宿が多いので、そこに選手を泊めることで、民宿側にもこの大会に関わってもらい、関心を持ってもらいたかった。宿泊した選手が畳やふとんなど日本の様式美を体験できる機会も提供できる」(大会事務局長：中村光志さん談)

しかし、言葉の壁を理由に外国人選手を受け入れることに対する拒否反応があった。白馬村観光局を通じて外国人選手の受け入れの募集をかけても、なかなか集まらなかった。

「通訳を用意してくれるならば」という声があったが、複数の宿に通訳を用意すれば多大なコストがかかる。はじめは市販の自動通訳ソフトも試してみたが、現状ではまだまだ翻訳の精度に問題があり、外国人選手とコミュニケーションをする実用的なものがなかなか見つからなかった。

V-CUBE トランスレーターはモバイル端末や PC からコールセンターにいる通訳オ

ペレーターにテレビ電話でつなぐことで、どこでも多言語対応の通訳サービスを受けることができる。現在の対応言語は英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、ロシア語、日本語の8言語である。使った分だけ支払う従量課金制である。

このサービスを利用した民宿のオーナーの声には、宿泊した外国人選手の食事の内容について、どのようなメニューがいいのか、どのくらいの量がいいのか、食べられないものはあるのか、など細かい要望をフォローすることができて、自分が本来してあげたい積極的な「おもてなし」ができたというものがある。

今後も増え続ける訪日外国人に対し“日本流のおもてなし”を実現するためには、スムーズなコミュニケーションが重要である。機械による自動通訳の技術も発展していくと予想されるが、画面の向こうにいる人間が対応してくれる通訳システムの普及もまた重要であろう。

富山県におけるインバウンド対応 のできる中核的ホテルマン育成 (富山情報ビジネス専門学校)

H27	中核	
-----	----	--

平成27年度「成長分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進」事業 事業計画書

1. 分野名

⑬観光	「その他」分野名
-----	----------

2. 事業名称

富山県におけるインバウンド対応のできる中核的ホテルマン育成

3. 申請する職域プロジェクト

職域プロジェクト	(1) 職域プロジェクトA (「地域版学び直し教育プログラム」の開発・実証)	○
	(2) 職域プロジェクトB (「特色ある教育推進のための教育カリキュラム等」の開発・実証)	

※申請する取組いずれかひとつに「○」を記入すること。(大学院プログラムは別様式)

「女性の学び直し」に対応する場合、右欄チェック	☐
-------------------------	--------------------------

4. 代表機関

■ 代表法人(申請法人)等

法 人 名	学校法人 浦山学園
理 事 長 名	浦山 哲郎
学 校 名	富山情報ビジネス専門学校
所 在 地	〒 939-0341 富山県射水市三ヶ613

■ 事業責任者(事業全体の統括責任者)

職 名	校長
氏 名	永井真介
電話番号	0766-55-1420
E-mail	s-nagai@te.urayama.ac.jp

■ 事務担当者(文部科学省との連絡担当者)

職 名	学事課長
氏 名	南 忠志
電話番号	0766-55-1420
FAX番号	0766-55-0757
E-mail	t-minami@te.urayama.ac.jp

(1) 構成機関(機関として本事業に参画する学校・企業・団体等)

	構成機関(学校・団体・機関等)の名称	役割等	内諾	都道府県名
1	学校法人浦山学園 富山情報ビジネス専門学校	プロジェクト統括	済	富山県
2	学校法人KBC学園	実証・普及	済	沖縄県
3	川村学園女子大学	実施・実証	済	千葉県
4	玉川大学	実施・外国語	済	東京都
5	有限会社ザ・ライスマウンド	実施・実証・外国語・事務局・普及	済	東京都
6	専門学校岡山情報ビジネス学院	実証・普及	済	岡山県
7	国際外語・観光・エアライン専門学校	外国語・普及	済	新潟県
8	学校法人麻生塾	実証・普及	済	福岡県
9	ANAクラウンプラザホテル富山	実施・実証	済	富山県
10	富山第一ホテル	実施・実証	済	富山県
11	ホテルニューオータニ高岡	実施・実証	済	富山県
12	特定非営利活動法人関西アジア太平洋共生機構	実施・外国語・普及	済	兵庫県
13	株式会社グローバルビジネス戦略総合研究所	実施・外国語・普及	済	東京都
14	H1研究所	実証	済	東京都
15	フォーエバー株式会社	実施・実証	済	富山県
16	跡見学園女子大学	実施	済	埼玉県
17	株式会社井門観光研究所	実施・実証	済	東京都
18	学校法人穴吹学園 専門学校穴吹カレッジ	実証・普及	済	香川県
19	流通経済大学	実施	済	茨城県
20	横浜商科大学	実施	済	神奈川県
21	郡山情報ビジネス公務員専門学校	実証・普及	済	福島県
22	グランテラス富山	実施・実証	済	富山県
23	宇奈月杉乃井ホテル	実施・実証	済	富山県
24	学校法人龍澤学館 盛岡情報ビジネス専門学校	実証・普及	済	岩手県
25	学校法人龍馬学園 高知情報ビジネス専門学校	実証・普及	済	高知県
26	早稲田大学	外国語	済	東京都
27	立教大学	実証	済	東京都

(2)構成員(委員)の氏名(上記(1)の機関から参画する者及び個人で本事業に参画する者等)

氏名	所属・職名	役割等	内諾	都道府県名
浦山 哲郎	学校法人浦山学園	プロジェクト代表	済	富山県
丹治 朋子	川村学園女子大学	実施・実証	済	東京都
益田 誠也	玉川大学観光学部	実施・外国語	済	東京都
井門 隆雄	株式会社井門観光研究所	実施・実証	済	東京都
栗林 直子	国際外語・観光・エアライン専門学校	外国語・普及	済	新潟県
高岡 信吾	専門学校岡山情報ビジネス学院	実証・普及	済	岡山県
成底 敏	インターナショナルリゾートカレッジ	実証・普及	済	沖縄県
田中 雅彦	学校法人麻生塾 国際交流センター	実証・普及	済	福岡県
永井 真介	富山情報ビジネス専門学校	実施・実証・外国語・普及	済	富山県
四谷 真行	富山情報ビジネス専門学校	実施・実証・外国語・普及	済	富山県
高野 直人	富山情報ビジネス専門学校	実施・実証・外国語・普及	済	富山県
井村 日登美	H1研究所	実証	済	東京都
北山 明弘	ANAクラウンプラザホテル富山	実施・実証	済	富山県
坂井 義昭	富山第一ホテル	実施・実証	済	富山県
財津 達朗	ホテルニューオータニ高岡	実施・実証	済	富山県
松浦 宏行	フォーエバー株式会社	実施・実証	済	富山県
大類 晶嗣	特定非営利活動法人関西アジア太平洋共生機構	実施・外国語・普及	済	兵庫県
遠藤 乙彦	株式会社グローバルビジネス戦略総合研究所	実施・外国語・普及	済	東京都
野上 マルドナド 千代子	株式会社グローバルビジネス戦略総合研究所	実施・外国語	済	東京都
松坂 健	跡見学園女子大学	実施	済	東京都
大平 康喜	穴吹カレッジグループ	実証	済	香川県
佐戸 三千代	専門学校穴吹ビジネスカレッジ	普及	済	香川県
秋山 正人	流通経済大学	実施	済	茨城県
穴戸 学	横浜商科大学商学部貿易・観光学科	実施	済	神奈川県
小林 一雄	郡山情報ビジネス公務員専門学校	実証・普及	済	福島県
湯上 均	グランテラス富山	実施・実証	済	富山県
龍澤 尚孝	盛岡情報ビジネス専門学校	実証・普及	済	岩手県
芝 鉄夫	高知情報ビジネス専門学校	実証・普及	済	高知県
種村 和博	宇奈月杉乃井ホテル	実施・実証	済	富山県
常田 絵里	フリーランス通訳	外国語	済	東京都
飯塚 正成	有限会社ザ・ライスマウンド	実施・実証・外国語・普及	済	東京都
飯塚 久仁子	有限会社ザ・ライスマウンド	事務局	済	東京都
南 忠志	富山情報ビジネス専門学校	事務局	済	富山県
矢野 安剛	早稲田大学	外国語	済	東京都
玉井 和博	立教大学	実証	済	東京都

(2)-①実施委員会(構成員(委員)の氏名(上記(2)の者うち本委員会構成員))

氏名	所属・職名	役割等	内諾	都道府県名
浦山 哲郎	学校法人浦山学園	プロジェクト代表	済	富山県
丹治 朋子	川村学園女子大学	実施・実証	済	東京都
益田 誠也	玉川大学観光学部	実施・外国語	済	東京都
井門 隆雄	株式会社井門観光研究所	実施・実証	済	東京都
永井 真介	富山情報ビジネス専門学校	実施・実証・外国語・普及	済	富山県
四谷 真行	富山情報ビジネス専門学校	実施・実証・外国語・普及	済	富山県
高野 直人	富山情報ビジネス専門学校	実施・実証・外国語・普及	済	富山県
北山 明弘	ANAクラウンプラザホテル富山	実施・実証	済	富山県
坂井 義昭	富山第一ホテル	実施・実証	済	富山県
財津 達朗	ホテルニューオータニ高岡	実施・実証	済	富山県
松浦 宏行	フォーエバー株式会社	実施・実証	済	富山県
大類 晶嗣	特定非営利活動法人関西アジア太平洋共生機構	実施・外国語・普及	済	兵庫県
遠藤 乙彦	株式会社グローバルビジネス戦略総合研究所	実施・外国語・普及	済	東京都
野上 マルドナド 千代子	株式会社グローバルビジネス戦略総合研究所	実施・外国語	済	東京都
松坂 健	跡見学園女子大学	実施	済	埼玉県
秋山 正人	流通経済大学	実施	済	茨城県
穴戸 学	横浜商科大学商学部貿易・観光学科	実施	済	神奈川県
湯上 均	グランテラス富山	実施・実証	済	富山県
種村 和博	宇奈月杉乃井ホテル	実施・実証	済	富山県
飯塚 正成	有限会社ザ・ライスマウンド	実施・実証・外国語・普及	済	東京都

(2)-②実証委員会(構成員(委員)の氏名(上記(2)の者うち本委員会構成員))

氏名	所属・職名	役割等	内諾	都道府県名
浦山 哲郎	学校法人浦山学園	プロジェクト代表	済	富山県
丹治 朋子	川村学園女子大学	実施・実証	済	東京都
井門 隆雄	株式会社井門観光研究所	実施・実証	済	東京都
高岡 信吾	専門学校岡山情報ビジネス学院	実証・普及	済	岡山県
成底 敏	インターナショナルリゾートカレッジ	実証・普及	済	沖縄県
田中 雅彦	学校法人麻生塾 国際交流センター	実証・普及	済	福岡県
永井 真介	富山情報ビジネス専門学校	実施・実証・外国語・普及	済	富山県
四谷 真行	富山情報ビジネス専門学校	実施・実証・外国語・普及	済	富山県
高野 直人	富山情報ビジネス専門学校	実施・実証・外国語・普及	済	富山県
井村 日登美	H1研究所	実証	済	東京都
北山 明弘	ANAクラウンプラザホテル富山	実施・実証	済	富山県
坂井 義昭	富山第一ホテル	実施・実証	済	富山県
財津 達朗	ホテルニューオータニ高岡	実施・実証	済	富山県
松浦 宏行	フォーエバー株式会社	実施・実証	済	富山県
大平 康喜	穴吹カレッジグループ	実証	済	香川県
小林 一雄	郡山情報ビジネス公務員専門学校	実証・普及	済	福島県
湯上 均	グランテラス富山	実施・実証	済	富山県
龍澤 尚孝	盛岡情報ビジネス専門学校	実施・実証	済	岩手県
芝 鉄夫	高知情報ビジネス専門学校	実証・普及	済	高知県
種村 和博	宇奈月杉乃井ホテル	実施・実証	済	富山県
飯塚 正成	有限会社ザ・ライスマウンド	実施・実証・外国語・普及	済	東京都
玉井 和博	立教大学	実証	済	東京都

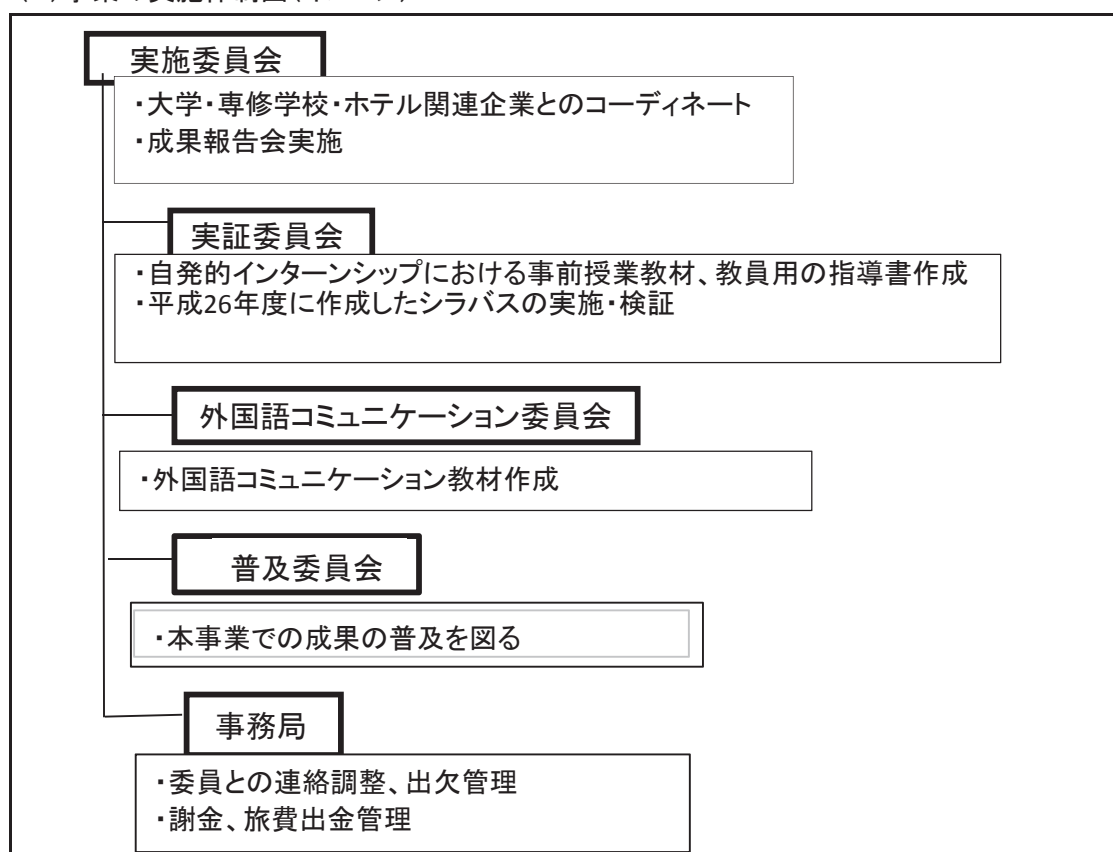
(2)-③ 外国語コミュニケーション委員会(構成員(委員)の氏名(上記(2)の者うち本委員会構成員)

氏名	所属・職名	役割等	内諾	都道府県名
浦山 哲郎	学校法人浦山学園	プロジェクト代表	済	富山県
益田 誠也	玉川大学観光学部	実施・外国語	済	東京都
栗林 直子	国際外語・観光・エアライン専門学校	外国語・普及	済	新潟県
永井 真介	富山情報ビジネス専門学校	実施・実証・外国語・普及	済	富山県
四谷 真行	富山情報ビジネス専門学校	実施・実証・外国語・普及	済	富山県
高野 直人	富山情報ビジネス専門学校	実施・実証・外国語・普及	済	富山県
大類 晶嗣	特定非営利活動法人関西アジア太平洋共生機構	実施・外国語・普及	済	兵庫県
遠藤 乙彦	株式会社グローバルビジネス戦略総合研究所	実施・外国語・普及	済	東京都
野上 マルドナド 千代子	株式会社グローバルビジネス戦略総合研究所	実施・外国語	済	東京都
常田 絵里	フリーランス通訳	外国語	済	東京都
飯塚 正成	有限会社ザ・ライスマウンド	実施・実証・外国語・普及	済	東京都
矢野 安剛	早稲田大学	外国語	済	東京都

(2)-④ 普及委員会(構成員(委員)の氏名(上記(2)の者うち本委員会構成員)

氏名	所属・職名	役割等	内諾	都道府県名
浦山 哲郎	学校法人浦山学園	プロジェクト代表	済	富山県
栗林 直子	国際外語・観光・エアライン専門学校	外国語・普及	済	新潟県
高岡 信吾	専門学校岡山情報ビジネス学院	実証・普及	済	岡山県
成底 敏	インターナショナルリゾートカレッジ	実証・普及	済	沖縄県
田中 雅彦	学校法人麻生塾 国際交流センター	実証・普及	済	福岡県
永井 真介	富山情報ビジネス専門学校	実施・実証・外国語・普及	済	富山県
四谷 真行	富山情報ビジネス専門学校	実施・実証・外国語・普及	済	富山県
高野 直人	富山情報ビジネス専門学校	実施・実証・外国語・普及	済	富山県
大類 晶嗣	特定非営利活動法人関西アジア太平洋共生機構	実施・外国語・普及	済	兵庫県
遠藤 乙彦	株式会社グローバルビジネス戦略総合研究所	実施・外国語・普及	済	東京都
佐戸 三千代	穴吹カレッジグループ	普及	済	香川県
小林 一雄	郡山情報ビジネス公務員専門学校	実証・普及	済	福島県
龍澤 尚孝	盛岡情報ビジネス専門学校	実証・普及	済	岩手県
芝 鉄夫	高知情報ビジネス専門学校	実証・普及	済	高知県
飯塚 正成	有限会社ザ・ライスマウンド	実施・実証・外国語・普及	済	東京都

(4)事業の実施体制図(イメージ)



6. 事業の内容等

(1)事業の目的・概要

①目的・概要 富山県を訪問する外国人観光客が急速に進む中、本県における外国人受入れを担う人材の育成と輩出を目的とする。このことを達成するために前年度の自発的インターンシップモデルコース開発・実証の成果と結果を踏まえ、本年度は学生自らがホテル従業員の立場から考え、行動し、学ぶことができる業務参画型のインターンシップのプログラムを開発し、その実証を行う。また、宿泊業のグローバル化を推進するためにホテル専門英語を学ぶための教材(ESP教材)を開発し、実証する。さらに、異文化を理解し、それを受け入れるための素養作りおよびコミュニケーション力の向上を目的とした海外連携4ヶ月間教育プログラムの設計を行う。 観光分野コンソーシアム事業については、本職域プロジェクトが幹事役となり、本年度に採択された職域プロジェクトで行われている事業内容の共有するとともにインターネットポータルサイトを構築・運用する。 ②養成する人材像 訪日外国人に対し外国語でコミュニケーションをとり、積極的に豊かな自然を有する富山の魅力を伝えることができる人材。
--

(2)事業の実施意義や必要性について

① 当該分野における人材需要等の状況、それを踏まえた事業の実施意義

平成25年度の富山県の観光客入れ込み数は、平成24年度の2758万人から6.6%の増加し、2941万人となった。そのうち、富山県内に宿泊をした者の数は289万人となっており、90%を超える旅行者が富山県の着地をしていない状況である。

訪日外国人の過去3年間の推移は、平成23年度に約59,000人、平成24年度は81,000人、平成25年度には129,000人と前年度比59%増、一昨年度比では200%を超える旅行者が富山県を訪れている。(富山県観光・地域振興局観光課「平成25年富山県観光客入れ込み数(推移)」より。)この傾向は、本年3月の北陸新幹線開通等の要因によりさらに増加することが予測されている。

これらの要因から、富山県としては、魅力ある観光ルートの開発や宿泊業の強化、さらには町全体のグローバル化が必要となってきた。

② 取組が求められている状況、本事業により推進する必要性

富山県では、円安や格安航空会社等が展開するオープンスカイ制度導入、また北陸新幹線の開通によって外国人の更なる増加が見込まれ中、東南アジアを中心としたとり積極的な誘客活動を押し進めているところである。

また、富山県では、「とやまブランドの確立～選ばれ続ける観光県づくり～」の一環として、富山県全体の交通インフラはもちろんのこと、飲食店、お土産店、宿泊業等のグローバル化に取り組んでいるところであり、各市町村レベルでさまざまな取組が行われているところである。

本プロジェクトでは、外国人受け入れ体制整備に対するさまざまな施策の中から、訪日外国人を受け入れるための宿泊業のグローバル化に着眼し、前年度から中核的ホテルマンの育成に取り組んでいる。具体的には訪日外国人に対し、外国語でコミュニケーションをとり、積極的に豊かな自然を有する富山の魅力を伝えることができる人材の養成を目指している。このことは、「選ばれ続ける観光県づくり」事業に対して人材育成という観点からその効果が期待される。

③ 取組実施にあたっての平成26年度までに実施された職域プロジェクト等の成果の活用方針、方法等

○ 中核的ホテルマン育成指針、カリキュラム、シラバスの導入および海外連携プログラムの最終設計

昨年度開発した教育カリキュラム等は2年間のカリキュラムと新規設定10科目各15時間分(述べ150時間)のシラバスを開発した。このカリキュラムおよび新科目の運用は、平成28年度から本校で実施する。

また、1年次後半に4ヶ月間予定している海外連携教育プログラムについては、今年度にフィリピン・ラサール大学およびマカティ大学と教育設計を行い具体的な海外連携教育プログラムとして平成28年度から導入する。

○ 自発的インターンシップモデルコース

前年度に開発した自発的インターンシップモデルコースは、業務補助型のモデルとして学習成果を得ることができた。具体的な成果としては、調べる、考える、教えあう、質問する課題を発見すること等を自発的に行うことで、できるようになった。また、その成果の振り返りの中で、業務補助型からインターンシップ先ホテルの従業員という立場から業務に参画し学びを得る、いわゆる業務参画型インターンシップモデルの開発が必要という結果となり、本年度は、この開発と実証を行うこととした。

○ 単位互換を実施する上で求められる外国語コミュニケーション力調査

昨年度実施した外国語コミュニケーション力調査の結果をもとに、本年度は、「ESP(English for Specific Purposes)」いわゆるホテルマンとして働くために必要な特有の英語を身につけるための教材開発と検証的授業を実施する。

(3) 前年度までの取組概要・成果と本事業との継続性

(平成26年度事業) ・取組概要 ①中核的ホテルマン育成指針、カリキュラム編成表、シラバス作成 ②自発的インターンシップモデルの調査・開発および実証 ③フィリピン、アメリカ等における海外連携教育実施に向けての枠組みづくりおよび外国語コミュニケーション力に関する調査 ・事業成果 ①2年間カリキュラム等の策定は終了。また、新たに付加された科目10科目のシラバス150時間分を開発、シラバスの一部は平成27年度に実証。 ②自発的インターンシップモデルコースの調査・開発、実証を行った ・学生は「雑用」にも一つ一つの意味がある事を理解し、積極的に行うことができた ・参加者の多くがインターンシップの意味を再認識し、学びが深まったことを実感。 ・ホテル側のメリットの強化を図るために、業務参画型のインターンシップ体制の整備が必要であることがわかった。 ③外国語コミュニケーション力についての調査を行った。 ・ホテル・観光分野に特化したESP(専門英語)を学ぶための教材が必要であることがわかった ・専門用語500語程度および日常生活用語1000語程度の語学を学ぶ必要がある。 ・教材内容としてCEFR(Common European Framework of Reference for Languages「ヨーロッパ言語共通参照枠組み」)準拠のCan-Doタスクを取り入れ教材開発等を行い、より実践的な積上げ型(ストック型)の英語学習方法が望まれる。 ④海外の留学・研修プログラムのヒアリング調査 ・海外における4ヶ月間程度の研修プログラムを組むことにより、ホテルマンとしての必要なコミュニケーション力やオペレーション能力が身につくことがわかった。 ・先行研究などの事例も参考に、フィリピンでの海外連携プログラムが有効な方法であることがわかった。 ⑤上記成果物のwebページでの公開(URL:http://26monka-itaku.net/kanko/toyama/) ・本年度事業との継続性・関連性(成果を本年度の取組にどのように活用するのか) 上記の①～④の成果を踏まえ、本年度は業務参画型インターンシップモデルの開発・実証、ESPを学ぶための教材の開発実証、4ヶ月間の海外連携教育プログラムの開発を行う。 ・平成26年度に本委託事業を採択している場合は実績報告書(収支精算書除く)を添付すること。
--

(4) 事業の成果目標

期待される活動指標(アウトプット)・成果目標及び成果実績(アウトカム) ■期待される活動指標(アウトプット) ・海外連携教育プログラム(4ヶ月バージョン) ・自発的インターンシッププログラム(業務参画型)教材・教員用の指導書作成 ・ホテルESP教材 ・事業成果をまとめた報告書 ・コンソーシアム事業の報告書 ・コンソーシアム情報公開用ポータルサイト ■成果目標及び成果実績(アウトカム) ・訪日外国人に対するオペレーションを英語を言語として学ぶことによりスムーズに対応するコミュニケーション力を身につける。(平成28年度目標) ・ホテルの従業員として業務に参画し、実体験を通してホテル業界を知り、学ぶことができる。(平成27年度に本校学生6名を対象とする実施) ・ホテルマンとして必要な業界の専門英語(ESP)を理解する。(平成27年度に本校学生15名を対象とする実施)
--

(5) 事業の実施内容(※本事業の運用方針及び基本方針等を踏まえ具体的な取組内容を記載すること)

① 会議(目的、体制、開催回数等)

○実施委員会

目的:事業内容の確認、進捗管理、予算執行管理

体制:職域プロジェクト参画委員 20名体制

開催回数:2回(8、2月)

○実証委員会

目的:事業内容の確認、事業推進のための調査・研究および開発、進捗管理

体制:職域プロジェクト参画委員 22名体制

開催回数:3回(8、10、1月)

○外国語コミュニケーション委員会

目的:事業内容の確認、事業推進のための調査・研究および開発、進捗管理

体制:職域プロジェクト参画委員 12名体制

開催回数:3回(8、10、12月)

○普及委員会

目的:事業内容の普及

体制:職域プロジェクト参画委員 15名体制

開催回数:2回(9、11月)

○コンソーシアム会議

目的:職域プロジェクトで行われている事業内容を共有する

体制:各職域プロジェクトから代表者 17名体制

開催回数:3回(8、10、1月)

○事務局会議

目的:事業推進のための調整

体制:事務局メンバー

開催回数:2回(8月、12月)

② 調査等(目的、対象、規模、手法、実施方法等)

③ モデルカリキュラム基準、達成度評価、教材等作成(目的、規模、実施体制等)

○自発的インターンシッププログラム(業務参画型)作成

- 目的 : 充実したインターンシップにするためには学生に対する効果的な事前講習と終了後に振り返りを促す必要があるためその教材を開発する。
- 規模 : ①インターンシップ事前講習プログラムとして必要とされる知識や技術を学ぶ教材(90分×5コマ)
②自発的インターンシッププログラム(1～3ヶ月程度)
③事後講習プログラムとして振り返りや学習内容の定着を助長する教材(90分×3コマ)

実施体制 : 平成26年度の調査結果をもとに、本会実証委員会で検討し内容を決定する。

○自発的インターンシッププログラム教員用の指導書および副教材の作成

- 目的 : 上記①の教育を実施するための指導書および副教材を作成する
- 規模 : ①事前講習プログラム 90分×5コマ分
②事後講習プログラム 90分×3コマ分

実施体制 : 平成26年度の調査結果をもとに、本会実証委員会で検討し内容を決定する。

○海外連携教育プログラム

- 目的 : 訪日外国人受入れのための、異文化理解、コミュニケーション力、オペレーション力の向上を目的とする。
- 規模 : 4ヶ月間の研修プログラム
- 実施体制 : 本校教員および学識経験者、現地コンサルタント等で検討チームを結成し原案作成。
- 開発手法 : ①7月下旬に本事業からフィリピンのラサール大学、マカティ大学に担当委員を派遣し、4ヶ月間の教育プログラム骨子開発や教育環境の確認を行う。
②8月上旬～10月下旬までにインターネット会議などで内容を検討し決定する。
- 導入 : カリキュラムは平成28年度生から導入を開始する。

○ホテルESP教材

- 目的 : ホテルESP教材
- 規模 : 90分×30回 300センテンス 500語
- 実施体制 : 本校教員、ホテル英語の専門家およびフィリピンの大学のホテルマネジメント学科の教員の協力を得ながら作成。

④実証講座

○自発的インターンシッププログラム(業務補助型)の検証

- 目的 : 昨年度開発した業務補助型インターンシップとして実施。
- 対象 : 本校ホテルブライダル学科 1年生
- 規模 : 2週間×2例
- 時期 : 平成27年8月
- 方法 : 学生を業務補助員としてホテルに派遣し実習

○自発的インターンシッププログラム(業務参画型)の検証

- 目的 : 業務参画型インターンシッププログラムを検証的に実施する。
- 対象 : 本校ホテルブライダル学科
- 規模 : ①事前学習 90分×5コマ
②インターンシップ1ヶ月
③事後学習 90分×3コマ
- 時期 : 平成27年12月～平成28年1月
- 方法 : ①座学
②インターンシップ
③座学(成果報告)

○ホテルESP講座検証

- 目的 : ホテルESP教材の内容を検証する
- 対象 : 本校ホテルブライダル学科 1年生 15名程度。
- 規模 : 90分×8コマ 80センテンス 120語
- 時期 : 平成27年11、12月
- 方法 : 座学

(6)事業成果及び事業終了後の方針(成果の活用、継続性・関連性、発展性 等)

(事業成果物) ①自発的インターンシッププログラム教材 ②自発的インターンシッププログラム教員用の指導書 ③海外大学との単位認定基準を定める ④ホテルESP教材 ⑤事業成果をまとめた報告書 ⑥コンソーシアムポータルサイト (成果の活用等) ・①、②平成28年度から本校において導入。また本プロジェクト参画大学、専門学校へも普及を図る ・③平成28年度から本校において導入。また本プロジェクト参画専門学校へも普及を図る ・④平成28年度から本校において導入。また富山県のホテルマンや観光業に携わる方へ学びなおし教材として使用 ・成果物を普及させるために、成果報告会を開催する ・成果物を普及させるための組織結成を検討する
--

(7)「女性の学び直し」に対応した取組内容等

(事業実施体制、プログラム構成、環境配慮等、女性の学び直しに対応する取組内容等) なし。

※「3. 申請する職域プロジェクト」で、「女性の学び直し」対応欄
にチェックを入れた場合に記入